

「常に進化するオフィス」を目指す新本社で 2つの新たな取り組みをスタート

①顔認証によるセキュリティシステムの実証実験

②従業員のプライベートをサポートする「ユア・コンシェルジュ」サービスの実証実験

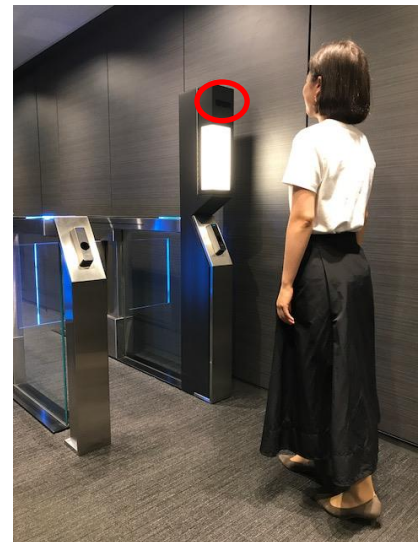
～従業員の生産性向上・働き方改革を支援し、今後の商品企画向上へ～

三菱地所株式会社は、東京・大手町の本社において従業員の生産性向上・働き方改革を支援する2つの取り組みをスタートします。

当社は、2018年1月5日より、「常に進化するオフィス」「新たな価値を創出し続けるオフィス」の実現に向けて「大手町パークビルディング」に本社を移転し、従業員の生産性向上・働き方改革を進めています。既に株式会社 Liquid とのコラボレーションによる生体（指紋）認証セキュリティシステム及び決済システム等を導入しておりますが、今般、新たに2つの取り組みを始めることとなりました。

1つ目として、日本電気株式会社の協力のもと、顔認証技術を活用したオフィスサービスの検証の為に2018年9月中旬より本社の一部のセキュリティ扉並びにセキュリティゲートに顔認証技術を導入致します。セキュリティ通過時のシームレスな移動を体感することのできる空間を創出します。将来的には、「東京駅前常盤橋プロジェクト」をはじめとしたオフィスビルの商品企画に活かしていきます。

2つ目の取り組みとして、株式会社 TPO と提携し、従業員のプライベートを支援する従業員向けコンシェルジュサービス「ユア・コンシェルジュ」を2018年8月20日（月）より試験的に導入しました。社内に常駐するコンシェルジュが従業員の代わりに手続きやリサーチを代行し、公私共に調和の取れた職場環境の創出を目指します。相談内容は平日に対応が必要な役所への問い合わせから、プライベートの充実を図る旅行や習い事のリサーチまで、多種多様なものを想定しており、今後丸の内エリアを中心とした就業者向けサービスへの展開を検討していきます。



▲設置した顔認証ゲート（赤囲み部分）



▲社内に設置した
コーポレートコンシェルジュサービスの
相談カウンター

<主な相談内容（想定）>

- ・職場や自宅近くの医療機関のリストアップ
- ・お祝い事のギフト提案・購入代行やレストラン予約
- ・子供の学童や習い事のリサーチ
- ・レンタルできる介護用品のリサーチ 等

今回の2つの取り組み等により従業員の生産性向上・働き方改革を支援するだけでなく、そこで得た知見やノウハウを顧客への提案や将来のオフィスビルの商品企画に活かして参ります。

顔認証によるセキュリティシステムの実証実験

主 催：三菱地所株式会社

協 力：日本電気株式会社

目 的：顔認証技術を活用したオフィスサービスの検証

期 間：2018年9月中旬～（予定）

内 容：

- ・当社本社の一部のセキュリティ扉並びにセキュリティゲートに、顔認証技術を導入し、セキュリティ通過時のシームレスな移動を体感することのできる空間を創出。
- ・検知データや、社員に対するアンケートを通じ、オフィスサービスへの拡充並びにビル運営業務の効率化に向けた同技術の有効性を確認予定。



▲設置した顔認証ゲート（赤囲み部分）



▲設置した顔認証ゲート（赤囲み部分）

従業員のプライベートをサポートする「コーポレートコンシェルジュサービス」の実証実験

主 催：三菱地所株式会社

協 力：株式会社 TPO

目 的：従業員向けコンシェルジュサービスの検証

期 間：2018年8月20日（月）～2018年11月19日（月）（予定）

内 容：

- ・当社本社の一角にコンシェルジュカウンターを設け、コンシェルジュが従業員から随時相談を受けて手続きやリサーチ等を代行。
- ・従業員の負担軽減やプライベートの充実を図ることで、仕事における生産性と創造性の向上を目指す。
- ・利用傾向や社員に対するアンケートを通じ、オフィスサービスへの拡充に向けた同サービスの有効性を確認。



▲社内に設置した
コーポレートコンシェルジュサービスの
相談カウンター

<参考> 当社新本社の様子



▲総合受付



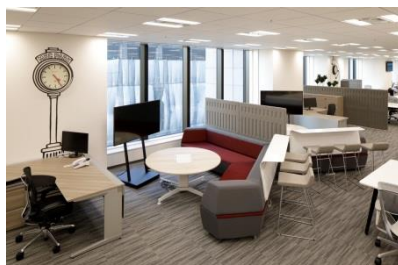
▲執務スペース



▲ラウンジ



▲打ち合わせスペース



▲プレゼンスペース



▲小上がりスペース



▲カフェテリア「SPARKLE」



▲カウンタースペース
「PERCH」

<参考> 新本社で行っている他の実証実験

① 株式会社 Liquid と連携した生体認証システムの導入(セキュリティ、キャッシュレス決済)

当社ビルのテナントである Liquid 社とのコラボレーションにより、最先端の生体(指紋)によるセキュリティ認証システム及び、日本初となる指紋認証と個人口座を連携した社内カフェテリア等で利用可能な決済システムを導入しました。Liquid 社の持つビッグデータ解析技術により、高速かつ正確な認証が可能です。

同システムの将来の「街での活用」を視野に入れ、新本社での導入実証実験を重ねて参ります。



② 社員位置情報システムの導入(協力: パナソニック株式会社)

「誰が、どこにいるのか把握しづらい」というグループアドレス制の短所を補完するため、事業担当役員を含めた各社員の社内位置情報が把握できるシステムを導入しました。社内コミュニケーションの効率化・迅速化にも寄与するほか、カフェテリアや共用スペースの混雑状況も一目で把握が可能です。

また、社員の位置情報データをビッグデータとしてストックすることで、データの解析を行い、社内の各エリアの利用状況を反映したオフィス空間の進化にも活用して参ります。



<参考> 「Marunouchi UrbanTech Voyager」(丸の内アーバンテックボイジャー) プロジェクトについて

三菱地所は、多様な人・企業が集い、交流することを通じて進化していく街を目指し、丸の内エリアの「オープンイノベーションフィールド」化を進めており、先端技術・テクノロジーの街づくりにおける有用性等について調査・研究を行う「Marunouchi UrbanTech Voyager」プロジェクトに取り組んでいます。



本プロジェクトでは、先端技術を持つ大学やスタートアップ企業等と連携を深めること等を通じて、AI・IoT・ロボティクス分野を中心に検証を深め、「東京駅前常盤橋プロジェクト」を始めとした将来のビルの商品企画に活かすなど、街への技術導入を通じて丸の内エリアの機能向上を目指します。

以上